

独立行政法人 日本芸術文化振興会
第30回 契約監視委員会 議事要旨

| | |
|------------|--|
| 開催年月日 | 令和5年12月5日(火) |
| 委員名簿 (敬称略) | 黒石陽子(東京学芸大学名誉教授) 千葉 尚路(弁護士) 石山恵一(独立行政法人日本芸術文化振興会監事) 藤川裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会非常勤監事) |
| 議事次第 | 1.委員長の選出及び委員長代理の指名について 2.連続一者応札・応募等事案フォローアップ(令和5年度分)について(審議) 3.令和5年度調達等合理化計画における進捗状況について(審議) 4.その他 |
| 審議点検対象 | 連続して一者応札・応募等となった案件(令和5年度) ※一者応札・応募等事案フォローアップ票による |
| 総括 | (1)審議方法概要と結果 契約金額100万円以上かつ令和5年度の調達と前回の調達が連続して一者応札・応募となった8件について、フォローアップ票及び関係書類による説明を受け、契約監視委員会のコメントを決定しました。 なお、連続一者応札・応募の改善の取組として、次の点に留意してください。 ・システムの調達に関しては、システム開発とリースが一体の調達となっているが、分割して調達を行っている法人もある。今後、業者に対してヒアリングを行う中で、一括調達が参入障壁となっていないかを把握するなど、リースとシステム開発を分けた調達についても検討すること。 ・業務着手までに業者の準備期間が十分に確保できるよう、役務の内容に応じた調達期間の設定を検討することが望ましい。 ・辞退した業者や参入可能と思われる業者等へのヒアリングをより丁寧に行い、その原因を十分に把握し、改善策を検討すること。 (2)令和5年度調達等合理化計画における進捗状況について 令和5年度独立行政法人日本芸術文化振興会調達等合理化計画のうち、重点的に取り組む分野と調達に関するガバナンスの徹底について、進捗状況の報告を受けました。 |